

学習課題（小学校3年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

＜勉強すること＞

◆「漢字の広場3」（教科書64 ページ）にとりくみます。

- ①教科書に書かれている漢字を音読しましょう。
- ②【書き方のれい】をさんこうに、時を表す言葉を使って、日曜日の出来事と、家の人のおきの今週の予定をノートや取組シートに書きましょう。

【書き方のれい】

（日曜日の出来事）

日曜日の朝は、おきるのがおそくなりました。

（家の人のおきの今週の予定）

今週、おばあちゃんは、東京のデパートに行って買い物をするよていです。

※64 ページに出ていることばを、一つの文に二ついじょうつかって書くこともできます。

※ここに出てきた漢字は、2年生で習った漢字です。できるかぎりすべてつかってみましょう。

◆教科書 84 ページで学習する新出漢字（感～持まで）をノートに練習します。

例：①154 ページを見て、書き順を指で書いてみましょう。

②読み方・使い方を声に出して、言ってみましょう。

③漢字をノートに書きましょう。

④出てきた漢字を使って、文を作りましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・このページに出てくる漢字は、2年生までに習った漢字となります。正しく書けている場合は、それをほめてあげてください。
- ・お子さんが学習した様子を後から確認する場合は、ノート等を見て、「漢字が正しく書けているね。」など、具体的に頑張りをほめてあげてください。



【社会】

＜勉強すること＞「市に古くから残るたて物」

◆「市に古くから残るたて物」（教科書28～29 ページ）や地図帳、学校で使っているしりょうなどをさんこうに、札幌市の古くからのこるたて物について、白地図やノートやとりくみシートにまとめましょう。

(1) 下の写真は何という名前のたて物かな。ノートやとりくみシートに書こう。

①



②



(2) 上の2つの古いたて物は同じ区にあります。何区でしょう。

(3) ①②のような古いたて物をのこすことで、どのようなよいことがありますか。

※どんな人が見に来るのか考えると見つけやすいです。

(4) 札幌市に古くからのこるたて物で、行ったことがあるたて物がありますか。あれば、思い出して書いてみましょう。



例えば、こんなたて物もありますよ。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・どのような建物が古くから残っているのかを一緒に話し合うと、大切に残されている価値に気付くことができます。

【算数】「※」は学習するときのヒントです。

＜勉強すること＞◆「たし算とひき算」②（教科書 37～38 ページ）

いろいろなたし算にちょうせん！
まずは「見つもり」をしてみよう。

見つもり…こたえがいくつくらいになるか、見当をつけること

見つもり

$400 + 100 = 500$
答えは500より大きいね。

見つもり

①		4	8	2
	+	1	6	4

②		3	2	7
	+	3	7	6

筆算をして、
答えを出そう。

※一の位から計算するから、はじめは「2+4」をするよ。
※くり上がりがある時は、上に「1」をわすれずに書こう。

①も②も答えを出せたかな？これまでとどこがちがうかな？
(前の時間は「318+225」だったよ！)

①…「318+225」は一の位をたしたら10より大きくなったけど、

①は十の位をたしたら10より大きくなる。

②…

つぎのめんだいは、どこがこれまでとちがうか分かるかな？

③		8	2	3
	+	4	3	5

見つもり

どこがこれまでとちがうかな？

③…



あれ？ これまで学習したことをつかったら、
数が「4けた」になってもたし算ができるんじゃないかな？

④		3	2	6	4
	+	4	3	5	8

分かったことや見つけたこと、おもしろい！と思ったことなどを書こう。

今のみんななら、数が何けたになっても計算できるはず！
自分で数を決めてたしかめてみよう。

+							

※自分で好きな数を入れて、計算しよう。(何けたでもいいよ。)

答えが同じになるはずだよ！

電たくで出した答え

※自分でつくったもんだいの
答えを電たくで出そう。

「たしかめ」のもんだいを算数のノートにやって、
学んだことをしっかり身につけよう。

教科書37ページ

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

教科書38ページ

6	7	8	9	10
---	---	---	---	----

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆たし算とひき算（教科書 P37～P38）

- ・くり上がりの際は、「1」をメモせずに計算をして、誤ってしまうことが多く見られますので、必ず書くように声をかけていただければと思います。それぞれの問題の違いに着目しながら、「数が増えても、結局計算の仕方は同じだ！」と感じられていたらすばらしいです。

【理科】

＜勉強^{べんきょう}すること＞

◆「チョウの育ち方」(教科書^{きょうかしよ}30～32 ページ)を見て、チョウの育ち方について考えましょう。

①教科書 30 ページのモンシロチョウの成虫とアゲハの成虫を見くらべて、にているところやちがうところを見つけ、取組シートやノートに書きましょう。

※色、形はどうか。

②これまでに書きためたかんさつきろくやモンシロチョウやアゲハの成長のようす(教科書 30～31 ページ)を見て、チョウの育ち方のじゅんについてまとめましょう。

※モンシロチョウやアゲハはたまごからどんなすがたでかえって、どのように成虫になったかな。

③「学びを生かして深めよう」(教科書 32 ページ)について、ツマグロヒョウモンが育つじゅんにならべましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- この学習では、モンシロチョウやアゲハがたまごから成虫になるまでの様子を通して、チョウの育ち方には順序があることに気付くことを大切にしています。
- 「モンシロチョウはたまごからどのように育ったかな。」とこれまでの学習を思い出したり、「モンシロチョウとアゲハの育ち方を比べてみよう。」と比べながら似ているところや違うところを見付けたりできるよう声をかけてあげてください。

【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめてと^とり^く組み^まし^まし^よう。道^{どう}具^ぐをつ^{つか}う^うときは、か^{もの}たい^{もの}物^あん^{ぜん}ぜ^んんにおこ^ない^まし^よう。

<べんきょうすること>

※動画を見られる場合は、右のQRコードを使ってください。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/home_karada_.html



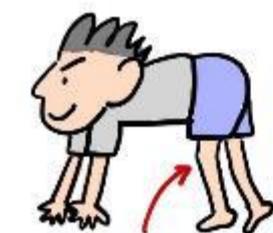
◆「動物^{どうぶつ}歩^{ある}き」に^とり^く組み^まし^まし^よう。

- (1) ①くま^{くま}ある^{ある}き、
②アザ^{あざ}ラシ^{らし}ある^{ある}き、
③う^うさ^さぎ^ぎと^とび、
④ク^くモ^もある^{ある}き^に
チャ^{ちゃ}レ^れん^んジ^じし^して^てみ^み
ま^まし^しよ^よう。

(2) ある^{ある}く^く速^{はや}さ^さや^や
回^{かい}数^{すう}、し^しせ^せい^いな^など^どを^を
変^かえて^てチャ^{ちゃ}レ^れん^んジ^じし^し
て^てみ^みま^まし^しよ^よう。

(3) ほ^ほか^かの^の姿^し勢^{せい}も^も
考^{かん}え^えて^て、チャ^{ちゃ}レ^れん^んジ^じ
し^して^てみ^みま^まし^しよ^よう。

① くまあるき ② アザラシあるき



ひざ^{ひざ}も^もゆ^ゆか^かにつ^つけ^けな^ない^いて^て
あ^ある^るこ^こう^う!



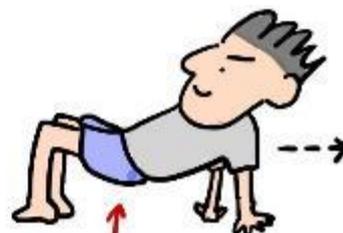
足^{あし}は^はち^ちか^から^らを^を
↓^{くだ}い^いて

↑^あし^しで^で
す^すも^もう^う!

③ うさぎとび ④ クモあるき



↑^あし^しで^で
す^すも^もう^う!



↑^おし^しり^りを^を
あ^あげ^げよ^よう

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・体づくり運動は、運動の楽しさを味わいながら、体の基本的な動きを身に付けていくことを目指しています。また、自分に合った運動の行い方を工夫できるようにすることも大切にしています。
- ・失敗しても何度もチャレンジしたり、時間や距離を変えるなどの仕方をしたりする姿を、ぜひほめていただきたいと思います。